

平成14年度東北海区海況予報 第4号

平成14年10月1日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し (2002年10 ~ 12月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並からやや南寄り(35°30' N ~ 36° N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で北寄りに推移する。
- (3)金華山沖の暖水塊は北西へ移動する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並(41° N付近)で推移する。
親潮第2分枝の張り出しは、平年並からやや南寄り(38°30' N付近まで)で推移する。
三陸南部から常磐近海では、一時的に冷水域の影響がある。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(143° E付近)である。

海況の経過 (2002年1月 ~ 2002年8月)の特徴

- ・近海黒潮の北限位置は、平年並で推移した。
- ・黒埼沖と常磐沖に暖水塊が存在した。
- ・6月以降、三陸沿岸に冷水域が見られ、8月には広範囲に分布した。
- ・親潮第1分枝の南限は、41° N付近(平年並 ~ 北偏)で停滞していた。
- ・一時的に常磐沿岸に暖水塊からの暖水波及があった。
- ・表面水温は、北海道沿岸域と沖合で平年より低め ~ 高め、東北沿岸は平年並で推移した。

現況 (2002年9月上中旬)の特徴

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並み(35°50' N)。
- (2)黒潮系暖水の北への張り出しは、近海で北寄り。
- (3)暖水塊が、金華山の東約300km(38° N, 145°10' E)にある。
8月に鮫角の東約200km沖にあった暖水塊は暖水域となった。
暖水域が、歌津崎の東約200kmにある。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、ほぼ平年並(40°40' N)。
親潮第2分枝の張り出しは、やや南寄り(38°30' N)。
冷水域が、三陸沿岸にある。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、ほぼ平年並(143° E)。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146° E以西、「沖合」は146° E以东を表す。